

# 進路だより —それぞれの夢に向かって—



微笑む進路 MUHS 進路指導部

第9号

14. 1. 15



進路だよりはイチゴの日

1月下旬までの主な学校行事・進路関係 (1/17～1/30)

1月17日(金)	3年生(1、2限授業③④・3限合同HR・4限教室整備) 3限 <b>センター試験直前注意②(視ホール)</b> 1、2年4時間授業③④⑤⑥・教室整備 完全下校 14:00
18日(土)	<b>大学入試センター試験</b> <b>(男子→立教大学新座キャンパス</b> <b>女子→十文字学園女子大学会場)～19日(日)</b> 1、2年センター問題演習(希望者) 中学校適性検査Ⅱ
20日(月)	<b>3年生 センター試験自己採点(午後～二者面談等)</b>
21日(火)	3年午前中授業(①②③)～29日
22日(水)	合同職員会議
23日(木)	3年生臨時休業 1年生実力テスト(1限センター説明会) 教員対象センター試験データ分析会(各予備校主催・午後)
24日(金)	<b>3年学年末考査(1、2限) センター試験後説明会(3限視</b> <b>ホール)4限LHRセンター試験リサーチデータ返却～二者面談</b> <b>(～29日)</b>
27日(月)	2年生実力テスト(7、8限) 1年小論文講演会
28日(火)	2年生実力テスト
29日(水)	3年①②授業③は合同HR
30日(木)	3年生家庭研修開始 2年生実力テスト(1～6限)

【3年生へ】 いよいよ18日は、センター試験1日目です。

- ① 会場は、男子 **立教大学 新座キャンパス** (武蔵野線 新座駅・東武線 志木駅)  
女子 **十文字学園女子大学** (武蔵野線 新座駅)
- ② 受験票・写真票の写真欄に同じ写真を貼り自署欄に署名して持参します。
- ③ 心穏やかに過ごす。→ いらいらしたり、気持が不安定では結果が出ません。

< センター試験までにもう一度確認しておきましょう >

- (1) 過去の模試などで、あいまいだった問題をもう一度見ておきましょう。  
良問や自分が不得意な分野は、入試で再び目にする可能性が高いようです。
- (2) 鉛筆のマークに慣れておきましょう。  
→模試ではシャープペン ok ですが、本番は「鉛筆」です。
- (3) 時間配分の感覚をもう一度頭に入れましょう。  
→センター試験は「時間」が勝負!
- (4) 1日目の最初の試験 → 登録した科目数により開始時間が異なります。  
→2科目登録の人は、9:05までに入室です。
- (5) マークミスをしないように頭の中で「イメージトレーニング」を。  
→問題冊子には必ず解答した答えの番号を忘れないようにしましょう。  
解答科目にマークしないと0点、地歴ではA・Bの区別、数学ではI・I  
A、II・II Bの区別も忘れないようにしましょう。
- (6) 8割以上を目標に。→「満点」はまず取れません。大事なのは「得点率」です。  
→得意な科目はもちろん、不得意科目でも諦めずに最後まで受験しましょう。
- (7) 6教科7科目の中で少しでも必要な科目はしっかり受験しよう。  
→体力・気力を支えてくれるのは、「友人」と「志望校への熱い思い」です。  
登録した科目を全て受験すると救われる可能性が高いです。
- (8) 試験本番は2日とも9:30から開始です。朝型の学習習慣が確立できていますか。  
→朝食(牛乳でも何でも良い)をとり、朝から体を目覚めさせましょう。
- (9) 試験当日の過ごし方も考えておきましょう。(待ち時間は意外と長いですよ)  
→気分転換 OR 最終チェック OR おしゃべり?  
昼食・おやつ・友人との語らいが一番気持ちを保つ上で大切になります。  
試験の出来が悪くても落ち込まず、次の科目に集中することです。
- (10) 体調管理に気をつけ、絶対に風邪などひかないように「努力」していますか。  
→風邪対策には手洗い、うがい、マスク、加湿が基本です。  
野菜を食べましょう。(大根・カボチャ・白菜・小松菜・納豆・ネギなど)



(11) 最後の最後は「自分を信じる」ことです。悔いのない受験をしましょう。

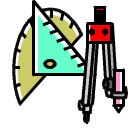
3教科についてのアドバイス (過去の記事より)



<英語>

①センター試験では長文の配点が高い。長文問題を解くにあたって、全文を読み終えてから設問にかかるのも一つの方法だが、1～2段落読んだらすぐ設問に取りかかってもいい。特に内容把握のために再度英文を読み直すのは時間の無駄、80分という限られた時間を有効に使うことが大切だ。とにかく過去問演習により自分に合った解答方法を確立すること。

アクセント問題のチェック(外来語等)、過去問演習は時間配分と問題形式に留意、長文の復習で語彙力アップを図る。



<数学>

60分で問題を解ききる練習を繰り返すこと。マークシートがあれば実際に塗ってみるとよい。制限時間内に解けなかった問題も解答・解説をよく読んで解いておく。頻出の基本事項・公式もしっかり確認。そして、正確で早い計算力を身につけておくこと。

<国語>

現代文:

過去問を演習する際、2つのポイントがある。①制限時間を設け、かつ、根拠をもって解答すること。②解いた後、単なるマルつけで終わらせず、解いたプロセスを確認すること。同音異義語・難読語の訓読み、熟語や慣用句の意味のチェック。読むスピードの遅い人は、読みながら設問を解くことで時間の短縮を心がける。

古文:

設問は大半が読解に関わるものなので、まず本文の内容を短時間で大きくつかむ事が大切だ。その上で各設問の選択肢と該当する本文の箇所を慎重に対応させながら正解を絞り出す。出題のポイントさえ的確に見抜ければ、選択肢の文章は長めでも判別は容易だ。基本単語の意味は最後まで念入りにチェックしよう。漢文は比喻に注意。

【最後に】

昨年は国語と数I Aの難化を受け、大幅に平均点がダウンしました。その結果を受け、今年は平均点のUPが予想されています。しかし、英語などは単語数の増加が予想されており、油断は禁物です。来年度は理科が大きく変更されるため、今年は安全志向が強い年だとされていますが、逆に積極的にチャレンジすることでチャンスが生まれます。弱気にならず、第一志望を貫きましょう。昨年末に実施されたセンタープレの成績が良かったOR悪かったからといって一喜一憂してはいけません。あくまでも「本番」です。今までやってきたことを信じて冷静に試験に臨みましょう。

【2年生へ】2015年1月17、18日がセンターです。

2年生は、センター試験まで1年となりました。3年生の4月から準備を始めると9ヶ月になります。3学期は受験0学期です。第一志望実現の可能性は準備が早ければ早いほどUPします。明日からではなく今日から始めることが大切です。



① 志望大学・学部・学科を決める。

すでに昨年の夏休みにオープンキャンパスへ参加して志望校を決めている人もいますが、春休みや、3年生の夏休みにも大学が主催する説明会やオープンキャンパスを利用していきましょう。志望校を決めることによって、受験勉強を続けていく上でのモチベーションが上がります。目標がない勉強はどうしても「苦行」になってしまいます。「合格体験記」を読むと良いかもしれません。

② 今年のセンター試験の入試問題を実際に解いてみる。

センター試験の問題には、基本的に難問や奇問がありません。そして、知識の丸暗記だけでも通用しません。大切なのは、本物のセンター試験を体験することです。予備校などが主催するセンター試験についての企画に参加したり、新聞に載った問題を解いてみましょう。そして1/27・30に実施する実力テストを真剣に受験しましょう。

③ 3学期の授業・学年末考査をがんばる。

現在2年生は、3月に実施される学年末考査で、2年次の成績が確定します。3年生になって指定校推薦や国公立大学等の公募推薦入試を受験しようと思っている人は、1、2年次の成績と3年生の1学期の成績(全教科・科目の成績を加えて合計数を出し、その数を科目数で割ったもの)で決まります。今現在、推薦を考えているかどうかは別にして、評定平均を4.0以上にする努力をしましょう。学校の成績が良い人は受験でも良い結果を出していることは過去の先輩の例からも明らかです。

【1年生へ】



1年生にとってセンター試験はまだ「遠い先の出来事」だと感じられますが、日々の授業の理解が「センター試験」に限らず「受験」対策だと「意識」して授業や定期考査に臨むことです。大学入試では「丸暗記」タイプは限界があります。教科書の内容を理解して覚えることが大切です。1年次の成績が確定する学年末考査で良い結果が出るよう授業に取り組みましょう。また、1/23の実力テストを真剣に受験することも大切です。そして、2年後の受験を意識し、志望大学・学部等について、昨年行われた先輩による進路講演会や「進路資料集」などを参考にして考えていきましょう。